

大阪経済の情勢（平成 29 年 8 月指標を中心に）

「大阪経済は、緩やかに回復している」

需要面では、個人消費は、緩やかに増加しつつある。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額（7月）は増加、新車販売台数は減少。家計消費支出（近畿）は減少。投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府（7月）は、生産は上昇、出荷は低下。近畿の生産（7月）は低下、全国生産（8月）は上昇。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間（7月）は上昇。

先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

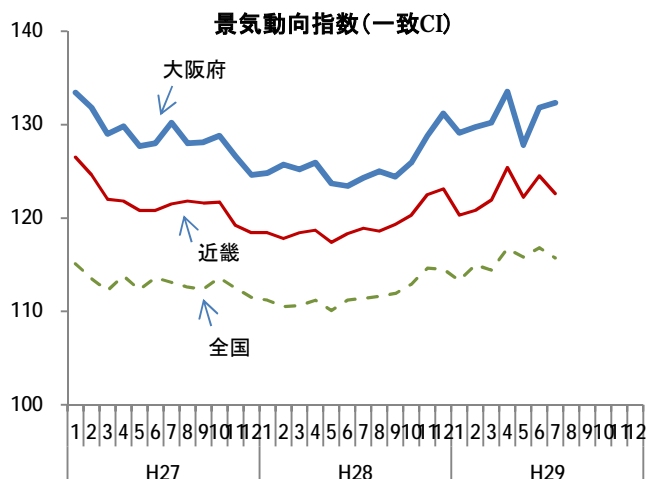
		需要								
		消費				投資		貿易・観光		
		一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (近畿)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関税外国人 旅客
8月		↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗
7月		↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
8月		↗	↗	↘	↘	↗
7月		↗	↘	↘	↗	↗

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(7月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」、「有効求人倍率」が上昇に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※H22=100

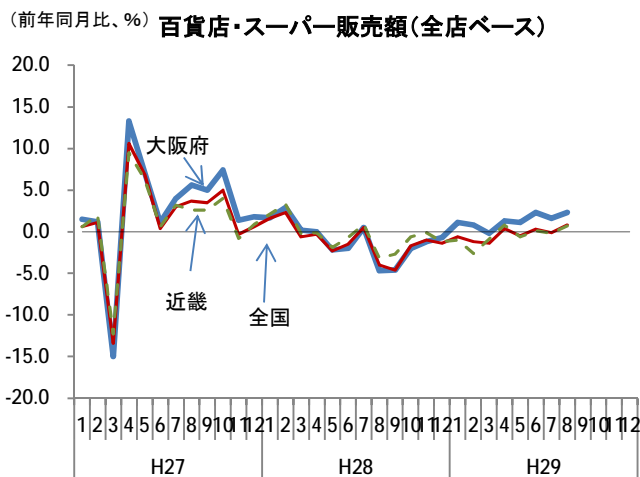
一致CIの個別系列の寄与度*（大阪府、7月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
▲0.22	▲0.11	0.08	0.56	0.04	0.21	▲0.05

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、緩やかに増加しつつある。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額（7月）は増加、新車販売台数は減少。



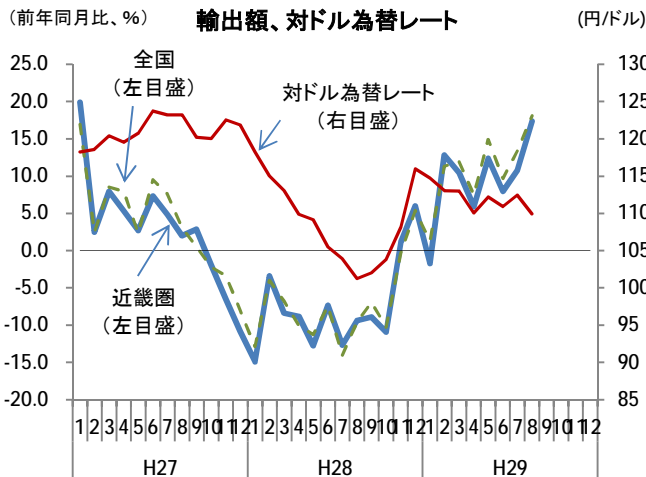
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、8月速報）

大型小売店 合計		2.3
うち	百貨店	4.0
	スーパー	0.9

●貿易

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

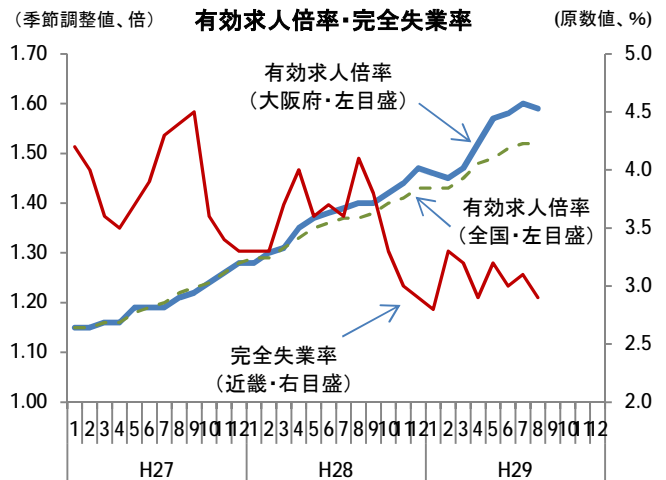
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、8月速報)

アジア(含む中国)	17.8	7ヶ月連続の増加
中国	29.6	10ヶ月連続の増加
EU	16.4	4ヶ月連続の増加
アメリカ	17.3	4ヶ月連続の増加

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(7月)は上昇。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

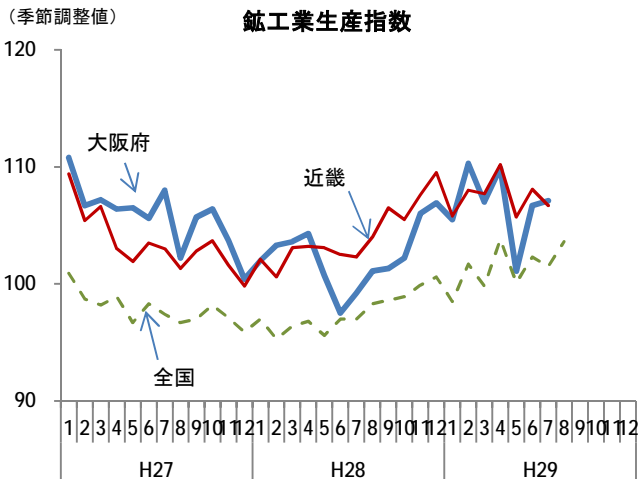
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、8月)

産業計	10.5
建設業	12.3
製造業	14.4
卸売業、小売業	▲2.1
宿泊業、飲食サービス業	6.9
医療、福祉	11.3

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府(7月)では、生産は上昇、出荷は低下。近畿の生産(7月)は低下、全国の生産(8月)は上昇。



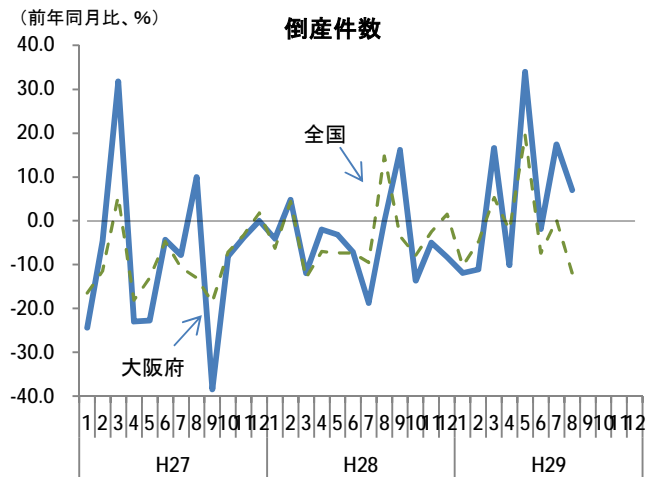
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※大阪府は製造工業指数、H22=100

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、7月速報)

上	電子部品・デバイス (14.1) : 液晶素子
昇	化学 (4.3) : 分解ガソリン、合成洗剤
	プラスチック製品 (4.2) : プラスチック製パイプ、プラスチック製フィルム・シート
低	金属製品 (▲14.4) : 橋りょう、架線金物
下	はん用・生産用・業務用機械 (▲2.7) : 超硬工具、ポンプ
	鉄鋼 (▲3.8) : 亜鉛メッキ鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼

●倒産

企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、8月)

業種	負債額(百万円)
キャラクターグッズ等企画販売	2,000
ゴルフ会員権売買	1,300
橋梁・土木工事ほか	1,100
不動産賃貸	1,060
不動産代理・仲介	550
婦人服販売	410
アクセサリー等企画制作販売	400